

バスから降りて運動場を走ってくる様子を職員室で見たり、教室で準備をしながら廊下で他の先生たちに挨拶する声を聞いたりする形で、子どもたちとの1日の学校生活が始まります。どの子どもも教室に入ってくる時は元気に挨拶するのですが、これだけ寒い日が続いてもその元気さは変わりません。より一層感染対策を心がけながら、この元気を年度末まで継続させていきたいと思えます。

愛唱歌プロジェクト ~作曲家インタビュー~

1/17(月)に谷口先生から紹介してもらい、作曲家の中野健一さんにオンライン授業をしていただきました。急遽決まったため、事前に何を説明して何を質問して教えてもらうかを検討しました。SOLANの関係者ではない中野さんには、愛唱歌プロジェクトの詳細を伝えるだけで良かった谷口先生の時と違い、SOLANもプロジェクトも3年生の存在も知らない中野さんには、まずはそこから説明しないといけないことに気づき、話し合いながら説明内容を確認しました。また歌の作り方や作るためには何から始めたらいいかなどの質問をしました。その結果、質問に答えていただくだけでなく、「今後も協力させていただきます」というお言葉もいただきました。先日の谷口先生に引き続き、子どもたちの熱い思いが通じて心強いサポーターがまた1人増えました。現在は歌詞作りに役立つ「SOLANのイメージ調査」の準備のため、グループに分かれてGoogle Formsでオンラインアンケートの作成をしています。1/29(土)の研究発表会でも日本中の教育関係者の方にプロジェクトの授業をオンラインで参観いただきます。今後もますます楽しいプロジェクトです!

理科 ~物の重さ調べ~ 初めての理科室

1/18(火)の理科の授業で、初めて理科室に行き、物の重さ調べの実験をしました。理科室で授業行うこと、それもこれがSOLANではクラス単位で行う初めての授業であることを伝えると、とても喜んでいました。テションの高さに不安はあったものの、理科室に行くとき持ちを切り替え、すぐに授業に向かう姿に改めて頼もしさを感じました。こういった雰囲気切り替えや作り方は、個々の成長はもちろん、仲間が18名に増え集団の意識が高まっているからこそできているのだと思います。

行った実験は粘土を使った「形を変えると重さは変わるのか」というものと、さまざまな種類のスプーンや容器、また塩と砂糖を比較し「同じ量でも素材が違えば重さは違うのか」を確かめるものです。形を変えていく中で手や粘土板に残った粘土はないか、落としたら割れる物でも移動させて重さを測れるか、砂糖や塩をこぼさないように容器に入れられるか等、注意点がある中でどの実験も成功させることができました。

今後もSOLANの豊かな学習環境を活かしながら学びを深めていきたいと思えます。

写真はプロジェクトの授業で作曲家の中野さんにオンライン授業をしてもらっている様子と、理科の授業で実験を行っている様子です。